

第3回 江川流域づくり支援会議(第二期)

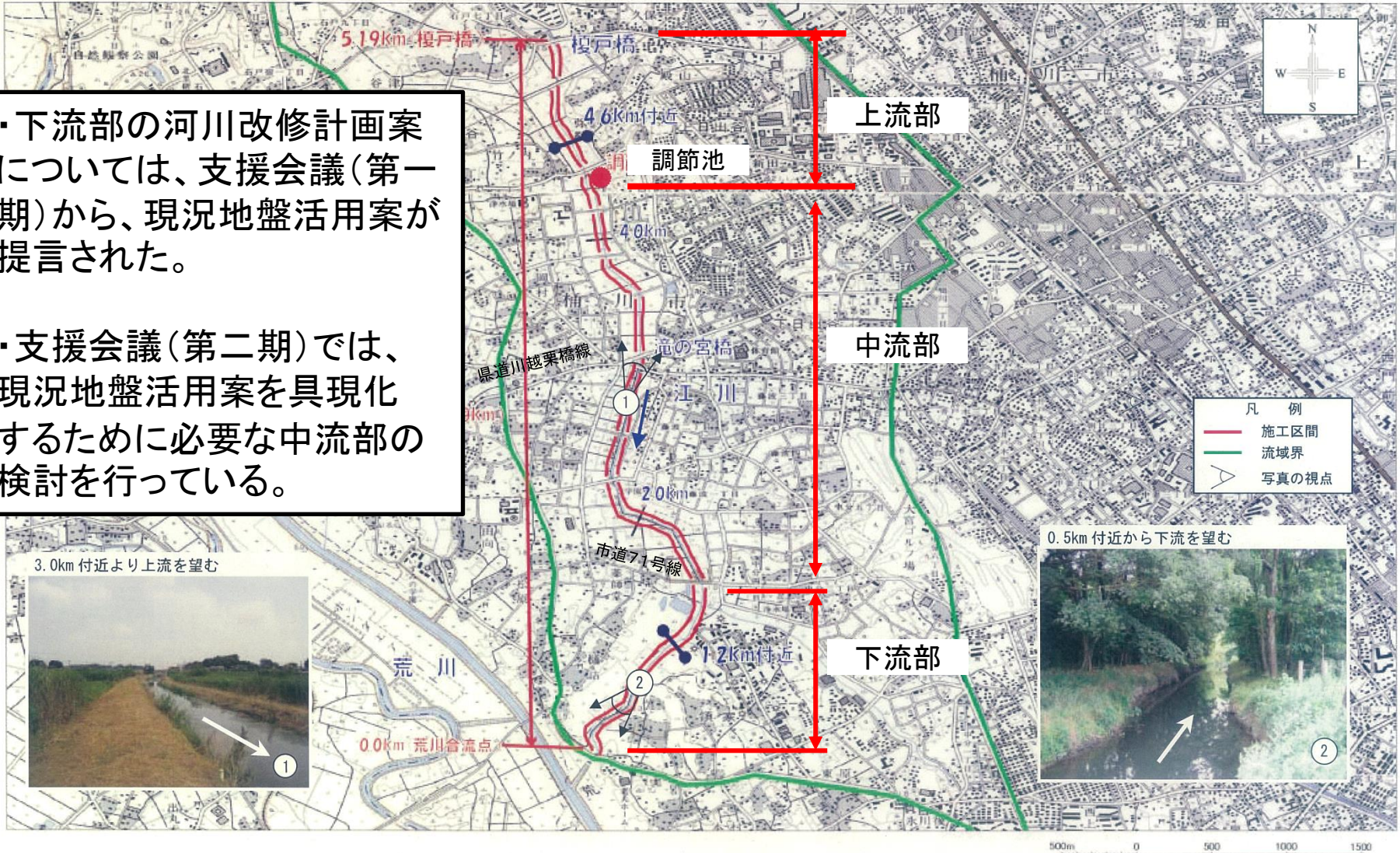
資料1

平成29年 5月11日

前回までの議論

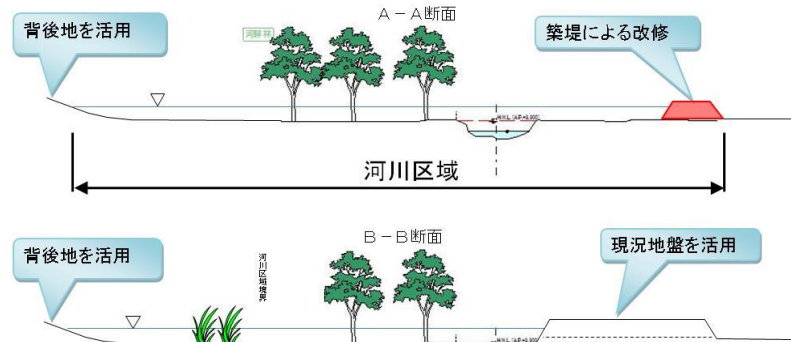
・下流部の河川改修計画案については、支援会議(第一期)から、現況地盤活用案が提言された。

・支援会議(第二期)では、現況地盤活用案を具現化するために必要な中流部の検討を行っている。



現況地盤活用(案)

- ◆ 宮下樋管を改修
- ◆ 河道は現地盤を活用し、低いところのみ築堤(掘削せず)
- ◆ 河畔林及び希少植物を避けて築堤
- ◆ 工業団地の一部を嵩上げ



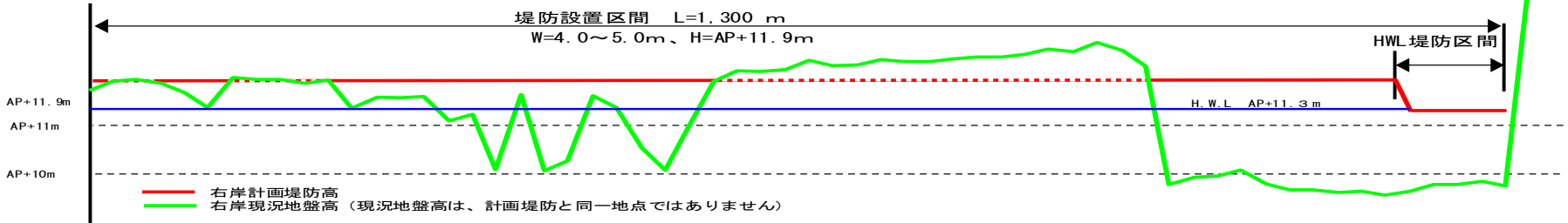
平面図



凡 例	
● ● ●	河川区域
■	河畔林

※本計画は案であり、詳細については今後決定する

縦断面図 (イメージ)

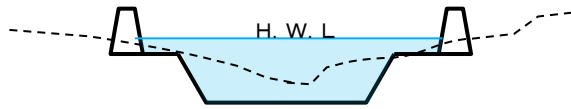


前回までの議論

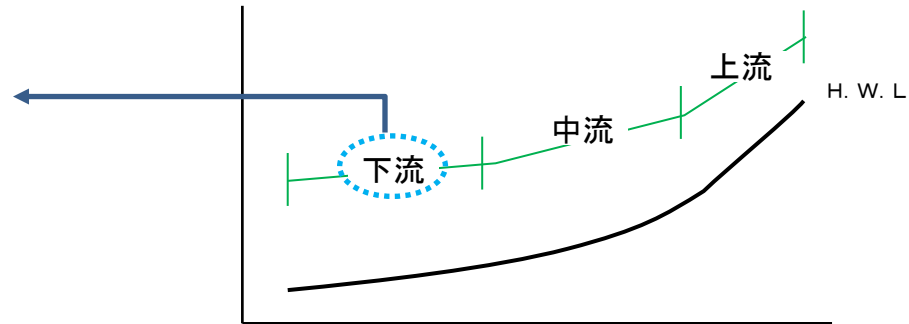
- ・下流部を現況地盤活用案とする事で、水位が上昇する中流部の改修計画の方向性を検討

現在の計画

下流部断面



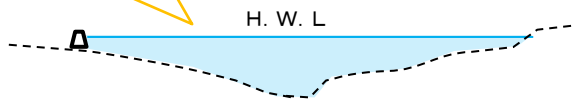
縦断



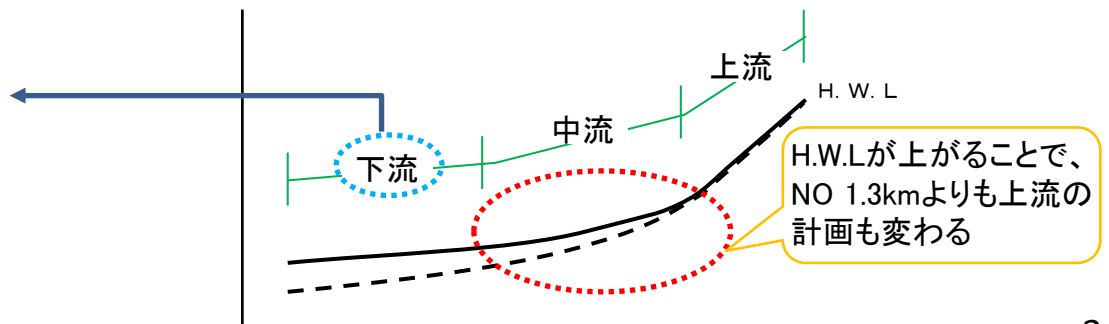
現況地盤活用(案)

下流部断面

計画高水位(H.W.L.)が上がる(推計で約1m)



縦断

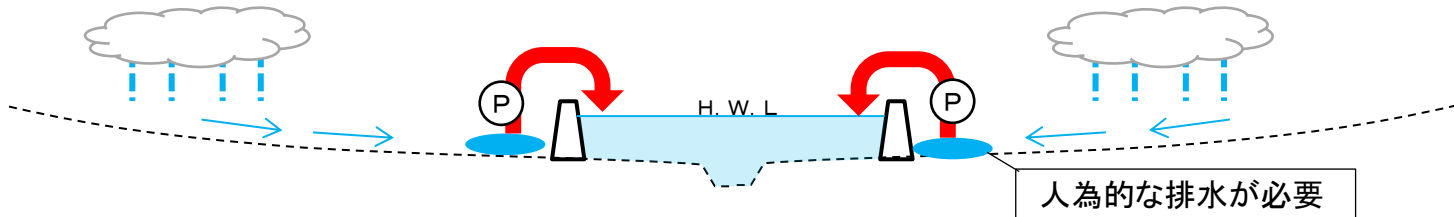


※ H. W. L = 計画高水位

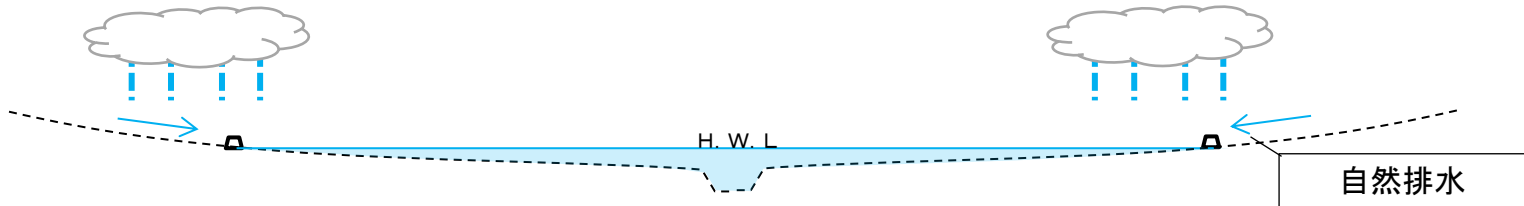
第2回会議での総括事項

【第2回支援会議 資料3】 中流部の断面計画の方法(イメージ)

案① 高い堤防を造り、洪水処理を行う断面計画



案② 河川区域を広げ、洪水処理を行う断面計画



○中流部の断面計画について引き続き議論を行う。そのために以下の方針に基づき、事務局で検討を進める。

- 案②「河川区域を広げ、洪水処理を行う断面計画」を基本とし、案①「高い堤防を造り、洪水処理を行う断面計画」との折衷案を具体的な形で検討する。
- 検討した各案について、長所と短所を整理する。